

犯罪学レラシー研修

～あなたも、  
犯罪学をしませんか?～

2014年3月3・4両日

龍谷大学深草学舎 紫光館・至心館

*Training Course for Criminology*

*Shall we do criminology?*

講師：

浜井 浩一（龍谷大学法科大学院）

津島 昌寛（龍谷大学社会学部）

津富 宏（静岡県立大学）

上田 光明（同志社大学）

島田 貴仁（科学警察研究所）

企画：文部科学省科学研究費・新学術領域研究（研究領域提案型）「法と人間科学」  
「犯罪者・非行少年処遇における人間科学的知見の活用に関する総合的研究」（代表・石塚伸一）

主催：龍谷大学矯正・保護総合センター

問い合わせ先：龍谷大学矯正・保護総合センター 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL：075-645-2040 FAX：075-645-2632

詳しくは、ホームページをご参照ください：<http://rcrc.ryukoku.ac.jp/>

# 【犯罪学研修会 (シャル・ウイ・ドウ・クリミノロジー?)】

犯罪学リテラシー研修～あなたも、犯罪学をしませんか?～

*Training Course for Criminology: Shall we do criminology?*

日時：2014年3月3・4両日

場所：龍谷大学深草学舎 紫光館および至心館 (\*宿泊をご希望の方は、あらかじめご連絡をください。)

## 【企画の趣旨】

19世紀に犯罪と刑罰に関する経験科学として登場した犯罪学(あるいは刑事学)は、生物学、心理学、社会学などの経験科学の実証的方法と成果を取り入れながら、都市と犯罪の問題に国家的規模で真剣に取り組んだアメリカで飛躍的に発展し、いまや、刑事政策を立案する際の国際的デフォルトになっています。ところが、日本では、法学、社会学、心理学、司法医学などの学問的縦割り構造が、犯罪に対する「法と人間科学」の学際的・学融的アプローチの展開を阻んでいます。

そこで、これから犯罪学を本格的に研究しようと思っている人たちのための研修会を企画しました。題して「犯罪学リテラシー研修～あなたも、犯罪学をしませんか?～」。講師は、日本の犯罪学をリードする第一線の研究者です。

全課程に参加した方には修了証を交付します。関連分野の研究者、実務家、大学院生などを対象とします。インテンシブな研修なので、人数に限界があります。お断りすることもありますので、早めにお申し込みください。

## 【スケジュール】

(1日目) 2014年3月3日(月) 13:00～18:00

石塚伸一「企画の趣旨」

【犯罪学における調査方法論 Introduction to the Research Methodology in Criminology】

浜井 浩一「ランダムサンプリングと標本調査」

津島 昌寛「回帰分析」

(2日目) 3月4日(火) 9:30～17:30

【犯罪・非行の調査研究 How to Research Crime and Delinquency】

津富 宏「エビデンスとキャンベル共同計画」

上田 光明「犯罪学理論の検証：セルフコントロール理論・権力統制理論」

島田 貴仁「防犯対策の検証：犯罪リスク・防犯活動の実証研究」

修了式

## 参加お申込み

参加をご希望される方は、事前にお申込みが必要です。

インターネットから <http://rcrc.ryukoku.ac.jp/>

FAX から

- ①矯正・保護総合センターのホームページ (<http://rcrc.ryukoku.ac.jp/>) 上部にある「お申し込み」ボタンをクリックしてください。
- ②「お申し込み」フォームの必要事項(お名前・住所・メールアドレスなど)を入力した後、送信ボタンをクリックしてください。登録されたメールアドレスに受付完了メールを返信いたします。

下記参加申込書にご記入の上、送信してください。

↓ **FAX : 075-645-2632**

## 2014年3月3日～4日 犯罪学研修会参加申込み

(フリガナ) お名前		学歴 または 研究暦	
ご住所	〒		
電話番号		FAX番号	
メールアドレス		ご所属・ご職業 (差し支えなければ)	
志望理由			